

令和5年度 第1回
東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和5年10月実施
大阪市東成区役所

I アンケートの概要

①調査の目的

令和5年度の東成区運営方針で取り組んでいる事業について、区民の皆様からご意見をいただき、今後の東成区政運営の参考にさせていただくことを目的としてアンケートを実施しました。

②調査のテーマ

令和5年度第1回区民アンケートのテーマは次のとおりです。

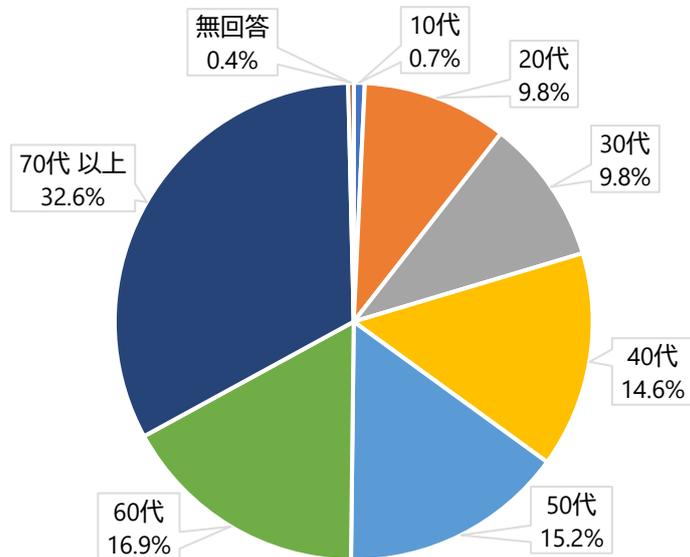
■まちづくり ■健康づくり ■在宅医療・在宅介護

③調査の実施状況

調査期間 : 令和5年10月13日～10月27日
方法 : 郵送と大阪市行政オンラインシステム
対象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,300名
回答者数 : 540名 (41.5%)

④回答者属性

	全体	540
年齢別	10代	4
	20代	53
	30代	53
	40代	79
	50代	82
	60代	91
	70代	176
	無回答	2



※アンケート結果については、小数点以下第3位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

※問1から問6までは、回答者属性にかかる質問です。

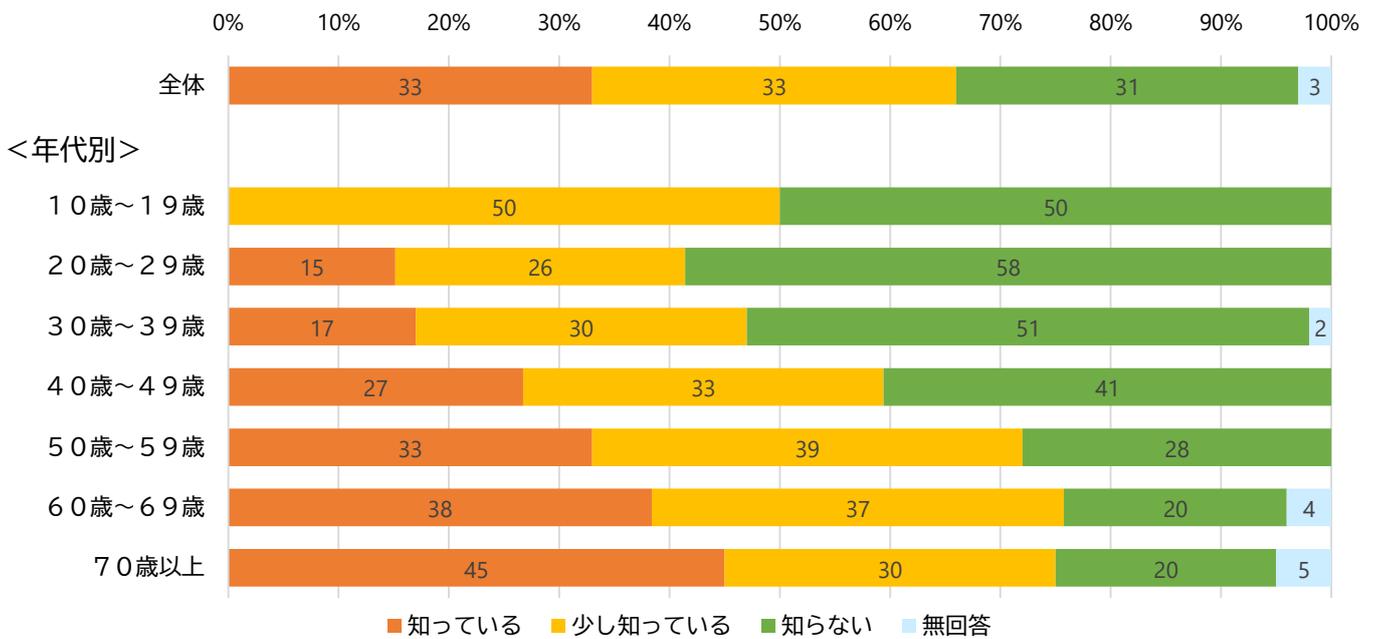
Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区は、戦後の高度経済成長とともに製造業を中心としたモノづくりで発展してきました。そして現在も、優れた技術を持った企業等が数多く存在します。

問7 あなたは、東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業がある「モノづくりのまち」であることを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っている	179	33.1
2 少し知っている	178	33.0
3 知らない	168	31.1
無回答	15	2.8
回答者数	540	



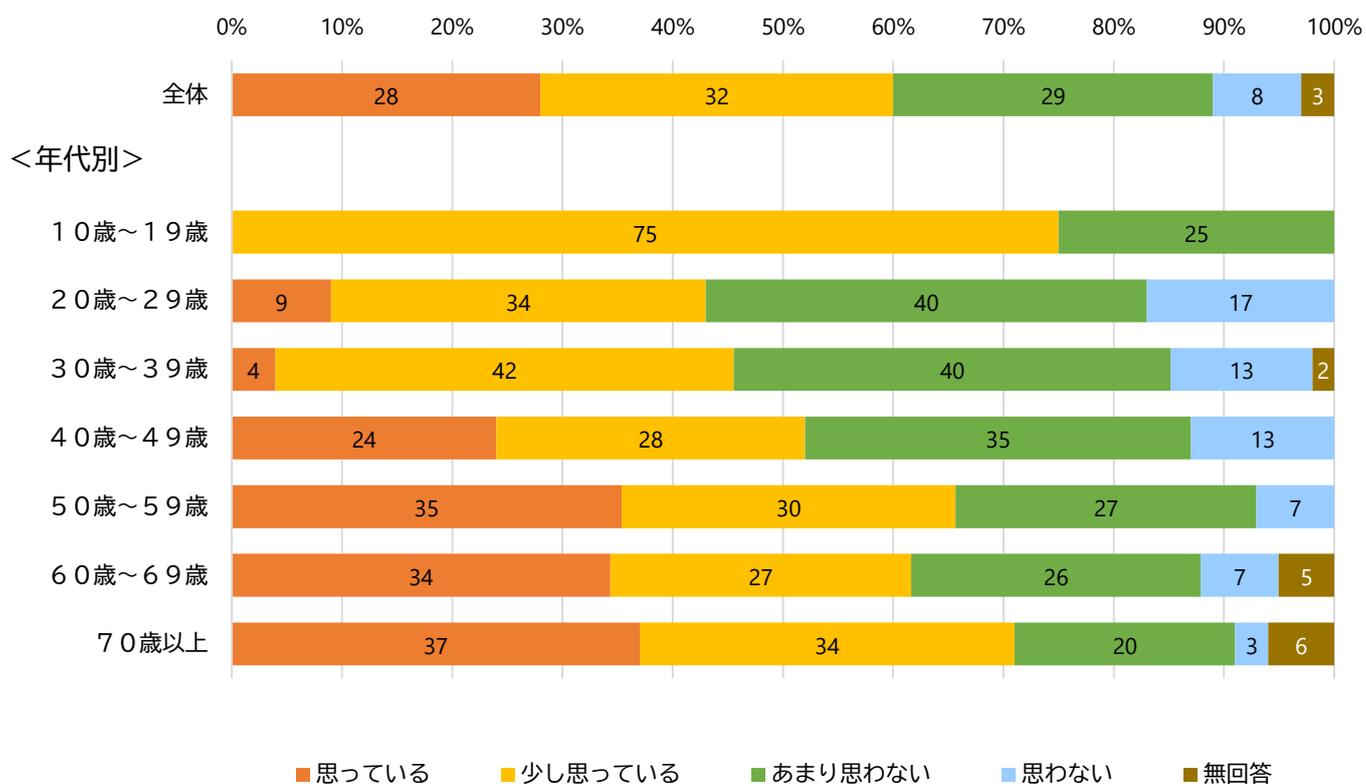
●7割弱の方が製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを知っている

- ・東成区に製造業を中心とした大小さまざまな企業があることを「知っている」が33.1%、「少し知っている」が33.0%、合わせて66.1%となりました。
- ・年代別で見ると、50歳代以上で高く、30歳代以下では「知らない」が高く、50%を超えています。
- ・東成区には、製造業を中心とした大小さまざまな企業が数多く存在することを、区広報紙「ひがしなりだより」や ホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問8 あなたは、東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに思いますか？

項目		回答数	比率(%)
1	思っている	151	28.0
2	少し思っている	174	32.2
3	あまり思わない	154	28.5
4	思わない	44	8.1
	無回答	17	3.1
回答者数		540	



●約6割の方が「モノづくりのまち」である事を誇りに思っている

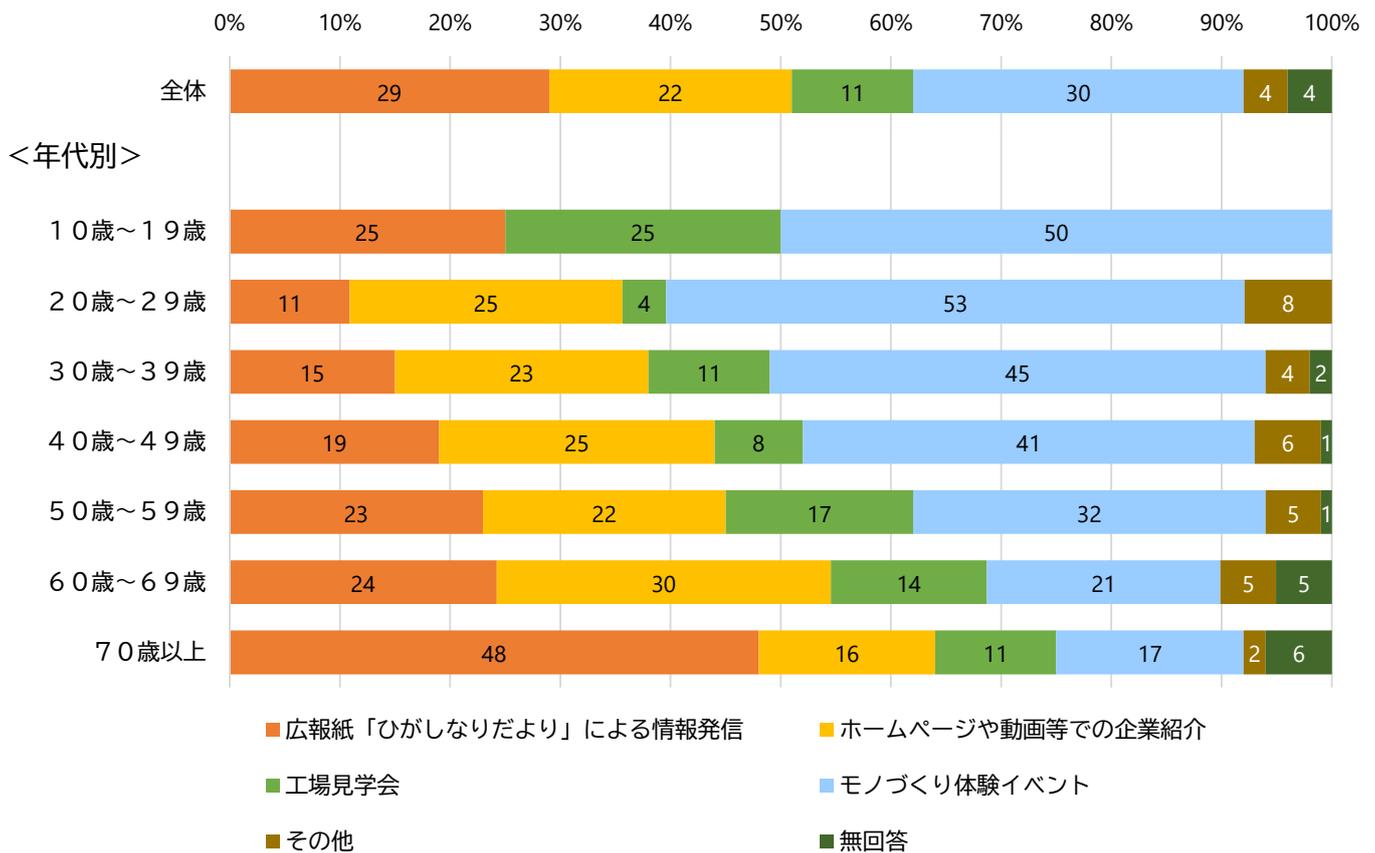
- ・東成区が「モノづくりのまち」である事を誇りに「思っている」が28.0%、「少し思っている」が32.2%、合わせて60.2%となりました。
- ・年代別で見ると、「思っている」、「少し思っている」を合わせた割合は10歳代と70歳代以上で高く、20歳代と30歳代では「あまり思わない」「思わない」の割合が高く、50%を超えています。
- ・東成区では、地域資源である「モノづくり」にスポットを当てた様々な取組を行っています。区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じてさらに情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問9 今後、東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらうためには、どのような点を重点的に取り組めば良いと思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」による情報発信	155	28.7
2 ホームページや動画等での企業紹介	120	22.2
3 工場見学会	61	11.3
4 モノづくり体験イベント	161	29.8
5 その他	23	4.3
無回答	20	3.7
回答者数	540	

●その他の主な意見
 ・1～4のすべて
 ・SNS等での情報発信



●広報紙「ひがしなりだより」や「ホームページや動画等での企業紹介」、「モノづくり体験イベント」による情報発信を重点的に取り組むべきと考えられている

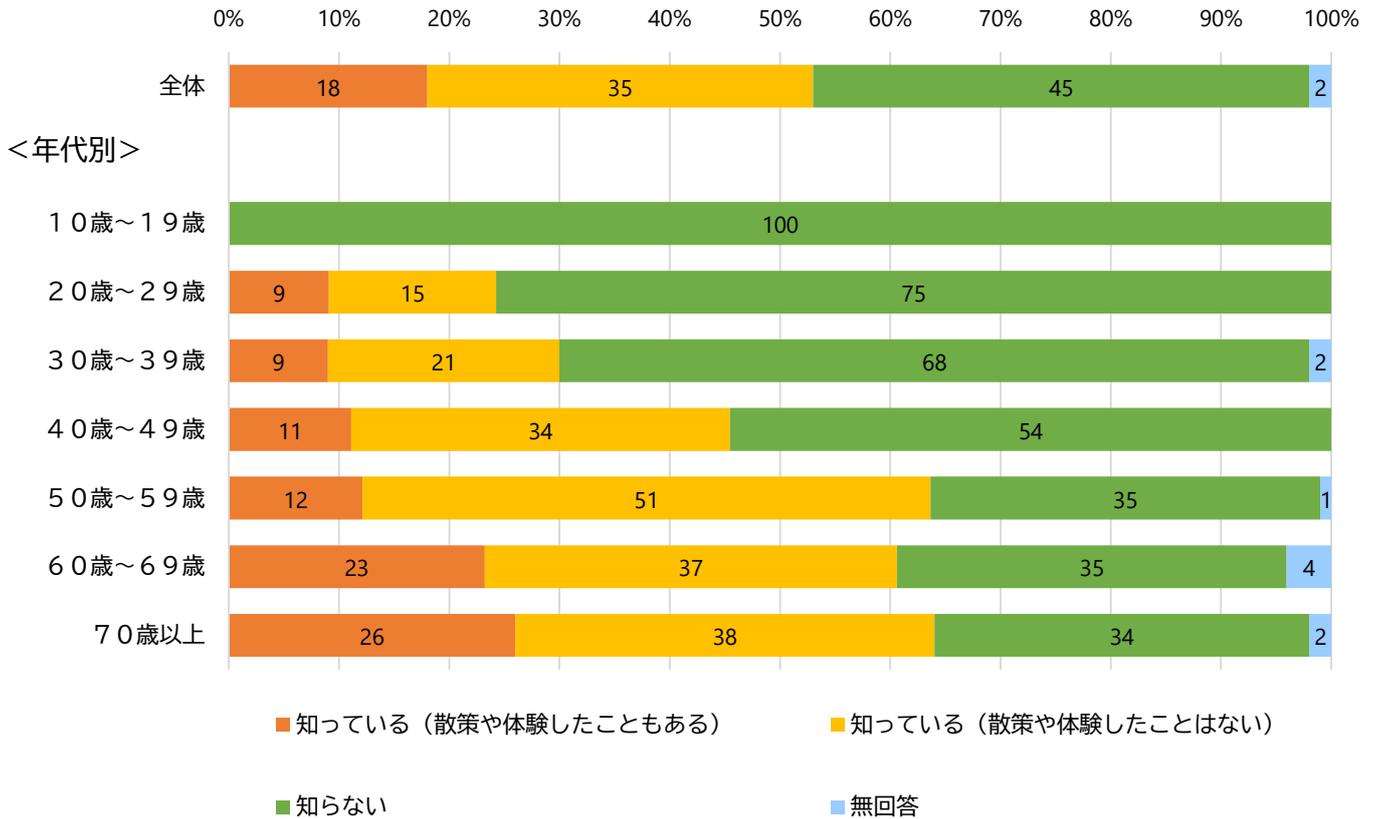
- ・「モノづくり体験イベント」が29.8%で最も多く、「広報紙『ひがしなりだより』による情報発信」が28.7%、「ホームページや動画等での企業紹介」が22.2%と続いています。
- ・年代別で見ると、70歳以上の世代が、広報紙「ひがしなりだより」による情報発信の割合が約50%と高く、年代が下がるにつれて、「モノづくり体験イベント」などの体験型イベントと回答する人が多くなっています。
- ・東成区が「モノづくりのまち」であることを知ってもらえるよう、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

東成区では地域資源を再発見・再確認し、区内外へ効果的に情報発信を行うことを目的に大阪市立大学（現大阪公立大学）と連携して地域資源の収集やコンテンツ作成を行い、「ひがしなりまち歩きアプリ」を2020（令和2）年7月にホームページに公開しています。
また、伝統工芸として大阪市指定文化財である「深江の菅細工」があります。

問10 東成区には区内のいたるところに古い歴史と文化を物語る文化財などが残されていることを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 知っている（散策や体験したこともある）	96	17.8
2 知っている（散策や体験したことはない）	189	35.0
3 知らない	243	45.0
無回答	12	2.2
回答者数	540	



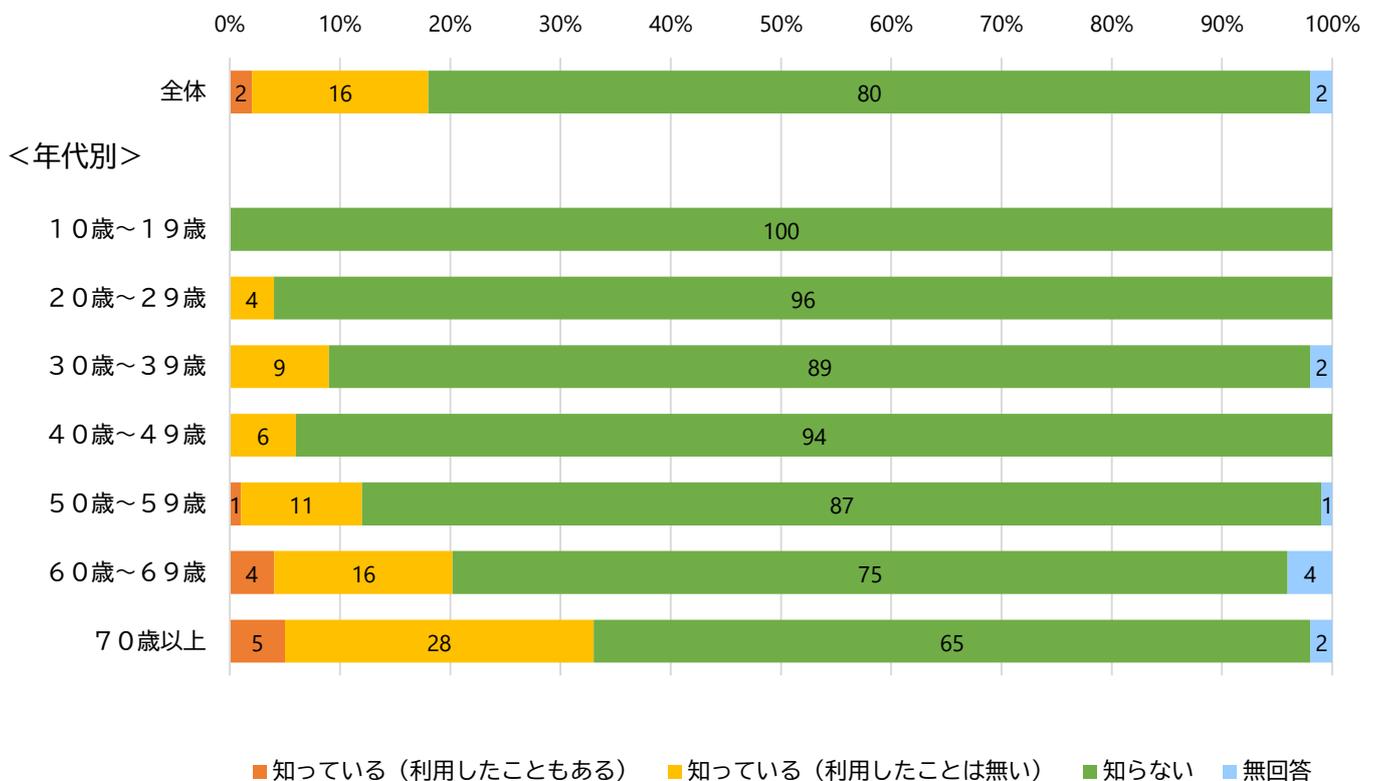
●約5割の人が区内に古い歴史と文化を物語る文化財等が残っているを知っている

- ・東成区内に古い歴史と文化を物語る文化財等が残ることを「知っており、散策や体験したこともある」が17.8%、「知っているが、散策や体験したことはない」が35.0%となりました。
- ・40代以下では、「知らない」が半数以上を占めており、10代に至っては、「知らない」が100%でした。
- ・東成区には、古い歴史と文化を物語る文化財等が残されていることを、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問11 「ひがしなりまち歩きアプリ」を知っていますか？

項目		回答数	比率(%)
1	知っている（利用したこともある）	13	2.4
2	知っている（利用したことは無い）	85	15.7
3	知らない	430	79.6
	無回答	12	2.2
回答者数		540	



● 「ひがしなりまち歩きアプリ」の認知は約2割

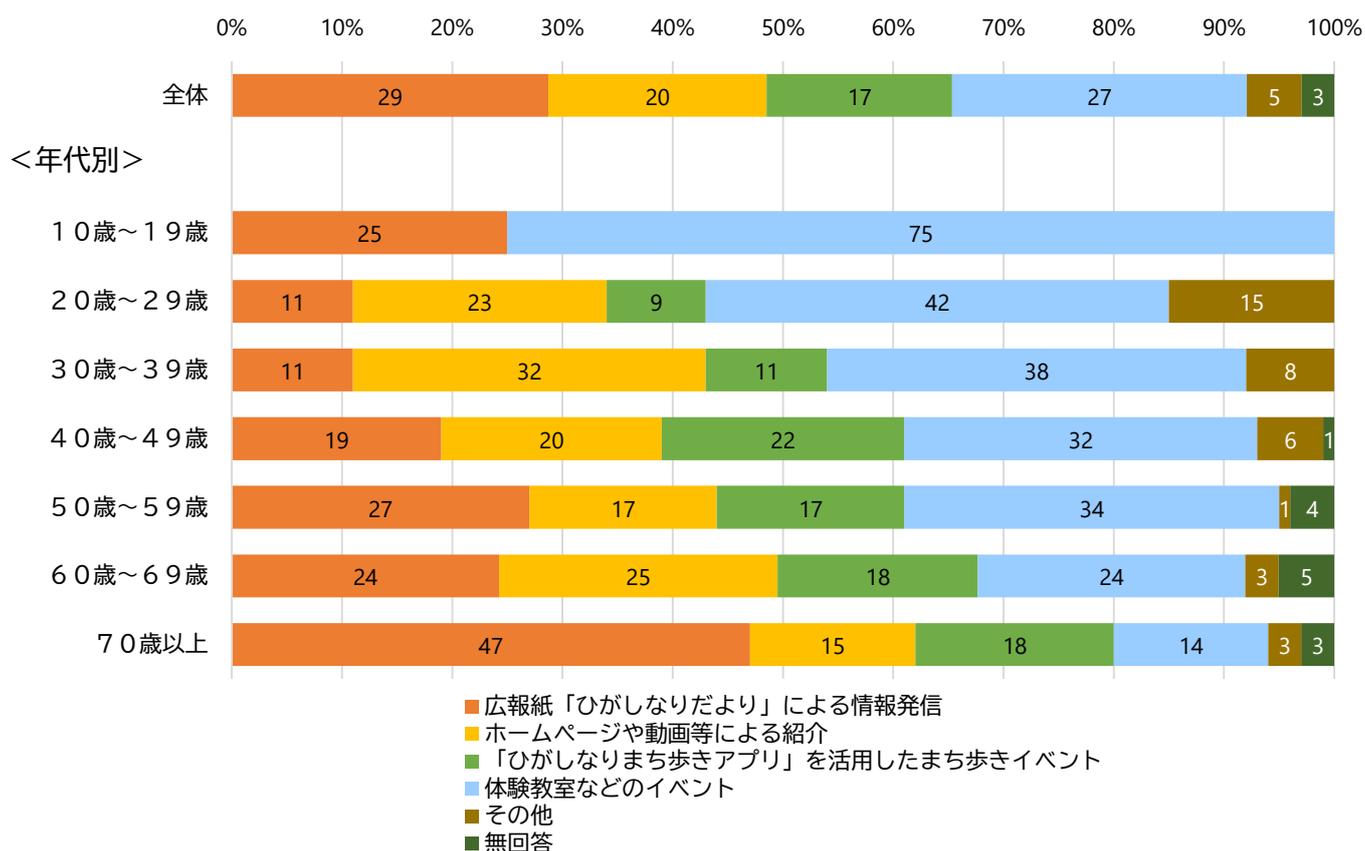
- ・ 「『ひがしなりまち歩きアプリ』を知っており・利用したことがある」が2.4%、「知っているが、利用したことはない」が15.7%で認知が進んでいない事が判明しました。
- ・ この結果は、「ひがしなりまち歩きアプリ」を利用したウォーキングイベントがコロナ禍により中止になっており、周知があまり進んでいないことが要因と思われます。
- ・ 「ひがしなりまち歩きアプリ」を活用したウォーキングイベント等の開催や区広報紙「ひがしなりだより」やホームページでの情報発信を通じ、認知の向上に努めます。

◆◆◆◆【まちづくりについて】◆◆◆◆

問12 今後、東成区の地域資源や伝統工芸について多くの人に知ってもらうには、どのような点を重点的に取り組めば良いと思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」による情報発信	155	28.7
2 ホームページや動画等による紹介	108	20.0
3 「ひがしなりまち歩きアプリ」を活用したまち歩きイベント	90	16.7
4 体験教室などのイベント	144	26.7
5 その他	26	4.8
無回答	17	3.1
回答者数	540	

- その他の主な意見
- ・小中学校への出張講座
 - ・SNS等での情報発信
 - ・テレビ



●広報紙「ひがしなりだより」や「ホームページや動画等による紹介」、「体験教室などのイベント」による情報発信による情報発信を重点的に取り組むべきと考えられている

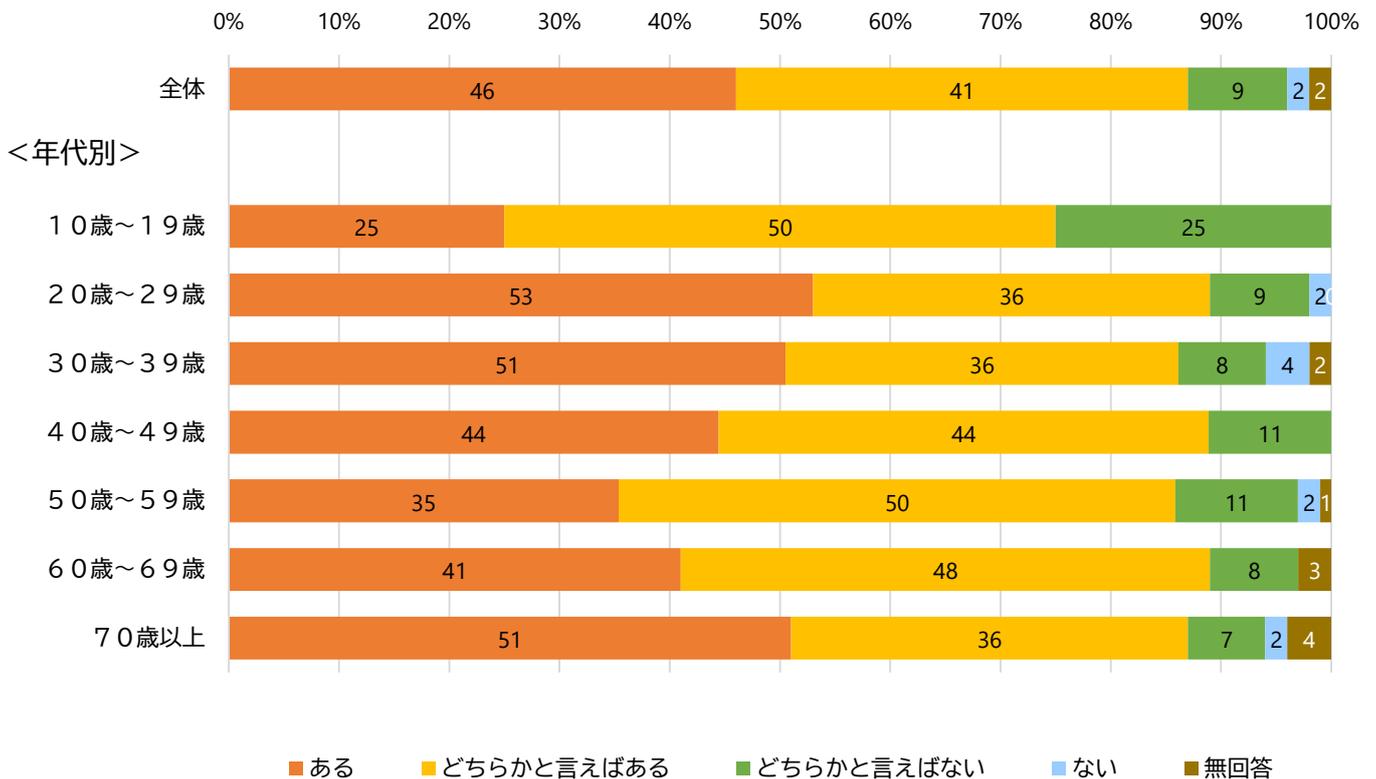
- ・「広報紙『ひがしなりだより』による情報発信」が28.7%で最も多く、「体験教室などのイベント」が26.7%、「ホームページや動画等による紹介」が20.0%と続いています。
- ・年代別で見ると、70歳代以上の世代は、広報紙「ひがしなりだより」による情報発信の割合が47%と高い傾向にあります。
- ・年代が下がるにつれて、「体験教室などの体験型イベント」による情報発信が最も高い傾向にあります。
- ・東成区には、古い歴史と文化を物語る文化財等の多くの「地域資源がある」ことを知ってもらえるよう、区広報紙「ひがしなりだより」やホームページや動画等による紹介、体験型イベント等を通じて情報発信に努めます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

東成区では、「健康寿命を延伸するため、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進する」ことを目的に、健康づくり講座や健診事業を行っています。健康づくりには、①栄養・食生活 ②運動 ③休養・こころの健康づくりが大切といわれています。もう一方の健診事業では、特定健診等各種健診の受診率向上の取組を進めています。

問13 あなたは、健康づくりに興味がありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 ある	247	45.7
2 どちらかと言えばある	223	41.3
3 どちらかと言えない	48	8.9
4 ない	9	1.7
無回答	13	2.4
回答者数		540



●健康づくりに興味を持つ者の割合が87.0%

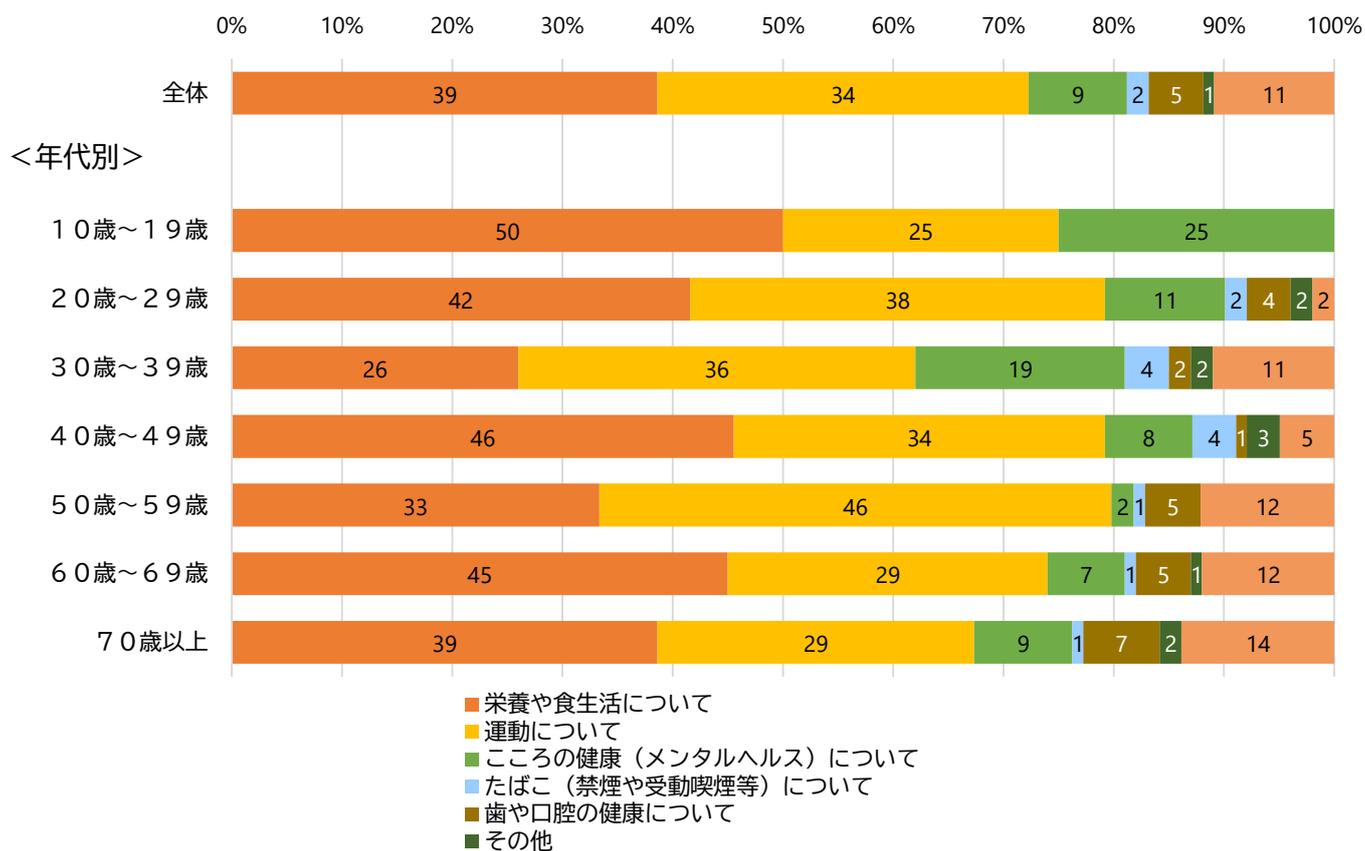
- ・各年代別では、20歳代で89%、30歳代で87%、40歳代で88%、50歳代で85%、60歳代で89%、70歳以上では87%の方が、健康づくりに興味を持っています。
- ・区民の健康づくりに対する関心は高いと考えられ、引き続き、区民が主体的、継続的に健康づくりに関心を持ち、生活習慣の改善や病気の予防、運動の実践等に取り組めるような啓発活動を実施します。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問14 (問13で3や4の「健康づくりに興味がない」と回答された方もできるだけご協力ください)
「健康づくり」に関して興味のあるものを1つ選んでください。

項目	回答数	比率(%)
1 栄養や食生活について	210	38.9
2 運動について	182	33.7
3 こころの健康(メンタルヘルス)について	46	8.5
4 たばこ(禁煙や受動喫煙等)について	9	1.7
5 歯や口腔の健康について	27	5.0
6 その他	8	1.5
無回答	58	10.7
回答者数	540	

- その他の主な意見
- ・自由に生きる
 - ・選べません
 - ・健康寿命



●「健康づくり」に関して知りたい情報は、「栄養や食生活について」と「運動について」の割合が高い

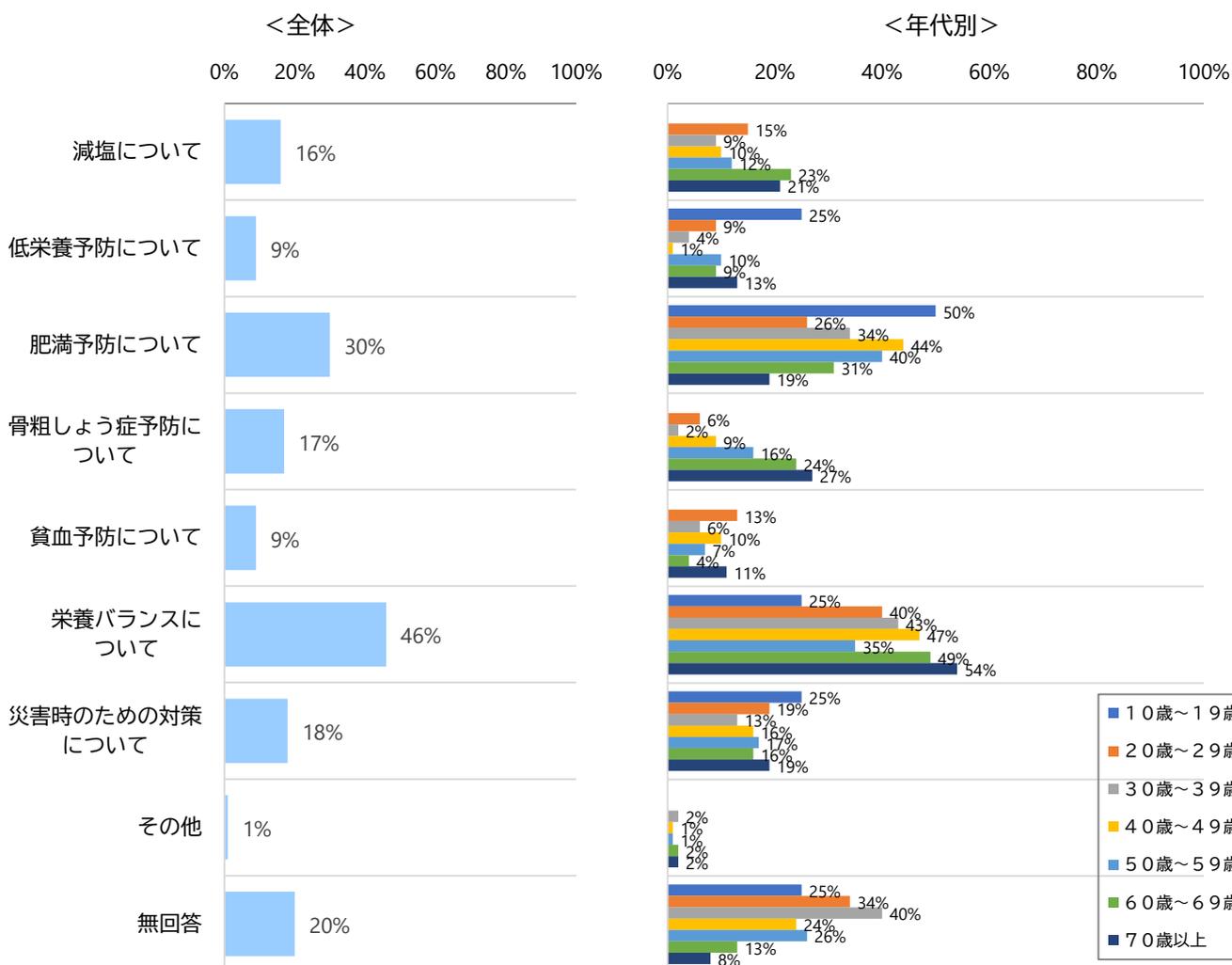
- ・年代別でも「栄養や食生活について」と「運動について」と回答した方の割合が高く、関心の高さがわかりました。
- ・地域での健康講座や区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ等を通して、情報発信に取り組んでいきます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問15 「栄養」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか。【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 減塩について	89	16.5
2 低栄養予防について	47	8.7
3 肥満予防について	164	30.4
4 骨粗しょう症予防について	94	17.4
5 貧血予防について	48	8.9
6 栄養バランスについて	251	46.5
7 災害時のための対策について	95	17.6
8 その他	8	1.5
無回答	107	19.8
回答者数	540	

- その他の主な意見
- ・レシピ、食べ方、保存方法
 - ・ケータリング情報
 - ・カロリーと必要摂取量
 - ・メタボリック



●「栄養」に関して知りたい情報は、「栄養バランスについて」の割合が46.5%と最も高い

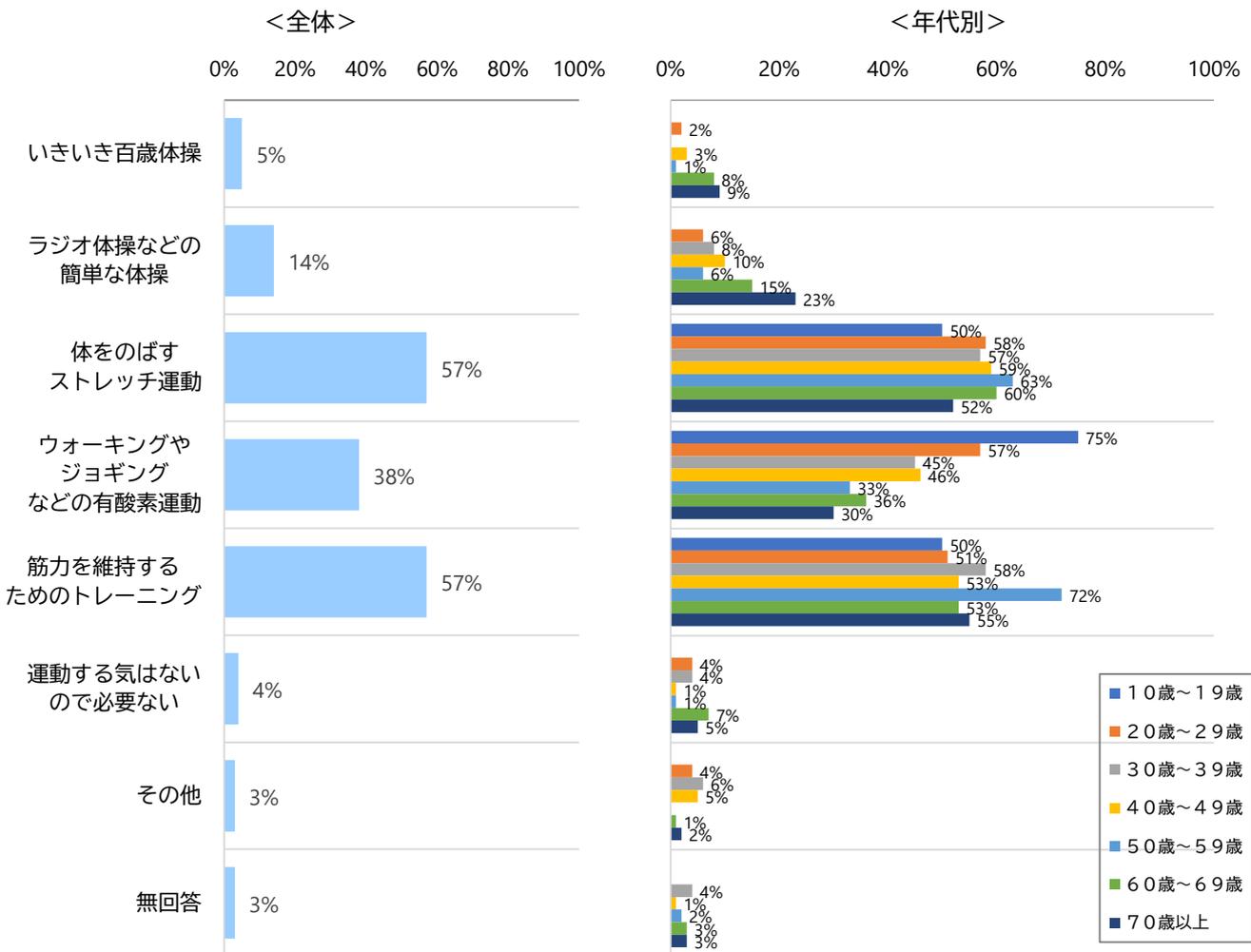
- ・各年代別でも「栄養バランスについて」と回答した方の割合が最も高く、「肥満予防について」も各年代でやや高い傾向にありました。
- ・10代では「肥満予防について」と回答した方が半数を占め、他の年代に比べて高い結果となりました。
- ・地域での健康講座や区広報紙「ひがしなりだより」やホームページ等を通して、栄養バランスにかかわる「食」の情報について情報提供に取り組んでいきます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問16 「運動」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか。【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 いきいき百歳体操	26	4.8
2 ラジオ体操などの簡単な体操	74	13.7
3 体をのばすストレッチ運動	308	57.0
4 ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動	205	38.0
5 筋力を維持するためのトレーニング	306	56.7
6 運動する気はないので必要ない	20	3.7
7 その他	14	2.6
無回答	15	2.8
回答者数	540	

- その他の主な意見
- ・ヨガ、ピラティス
 - ・トレーニングジム情報
 - ・すきま時間にできる簡単な運動情報
 - ・楽しく歩けるジョギングコース



●「運動」に関して知りたい情報は「体をのばすストレッチ運動」が57.0%、「筋力を維持するためのトレーニング」が56.7%、「ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動」が38.0%

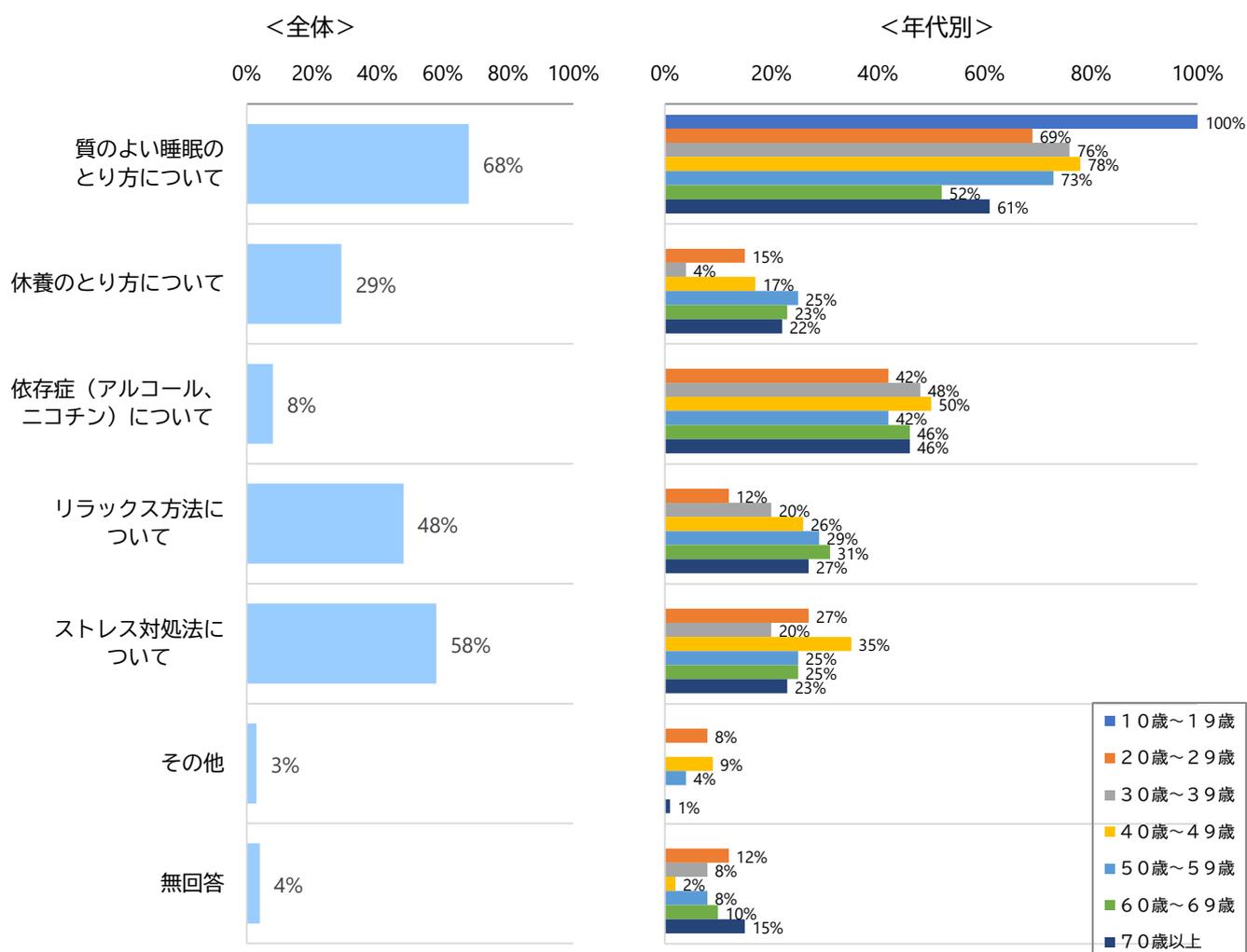
- ・全世代で「体をのばすストレッチ運動」、「筋力を維持するためのトレーニング」の割合が高い一方、全年代で「いきいき百歳体操」と回答した割合が最も低い傾向にあります。
- ・多くの人は運動の情報に関心を持っており、「運動する気はないので必要ない」、「無回答」と回答した運動の情報への関心がない方は6.5%にとどまりました。
- ・引き続き、いきいき百歳体操の普及啓発を行いながら、家庭でも取り組める筋力を維持するための運動、体をのばすストレッチ運動、ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動など壮年期、高齢期など各年齢層に応じた情報の提供を、地域での健康講座等を活用して取り組んでいきます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問17 こころの健康（メンタルヘルス）に関してどのようなことを知りたいですか？【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 質のよい睡眠のとり方について	369	68.3
2 休養のとり方について	155	28.7
3 依存症（アルコール、ニコチン）について	41	7.6
4 リラックス方法について	258	47.8
5 ストレス対処法について	313	58.0
6 その他	17	3.1
無回答	21	3.9
回答者数	540	

- その他の主な意見
- ・対人関係、コミュニケーションについて
 - ・認知の低下の防ぎ方
 - ・教室等、気軽に参加できる情報



● 「こころの健康（メンタルヘルス）」に関して知りたい情報は「質のよい睡眠のとり方について」が68.3%、「ストレス対処法について」が58.0%、「リラックス方法について」が47.8%

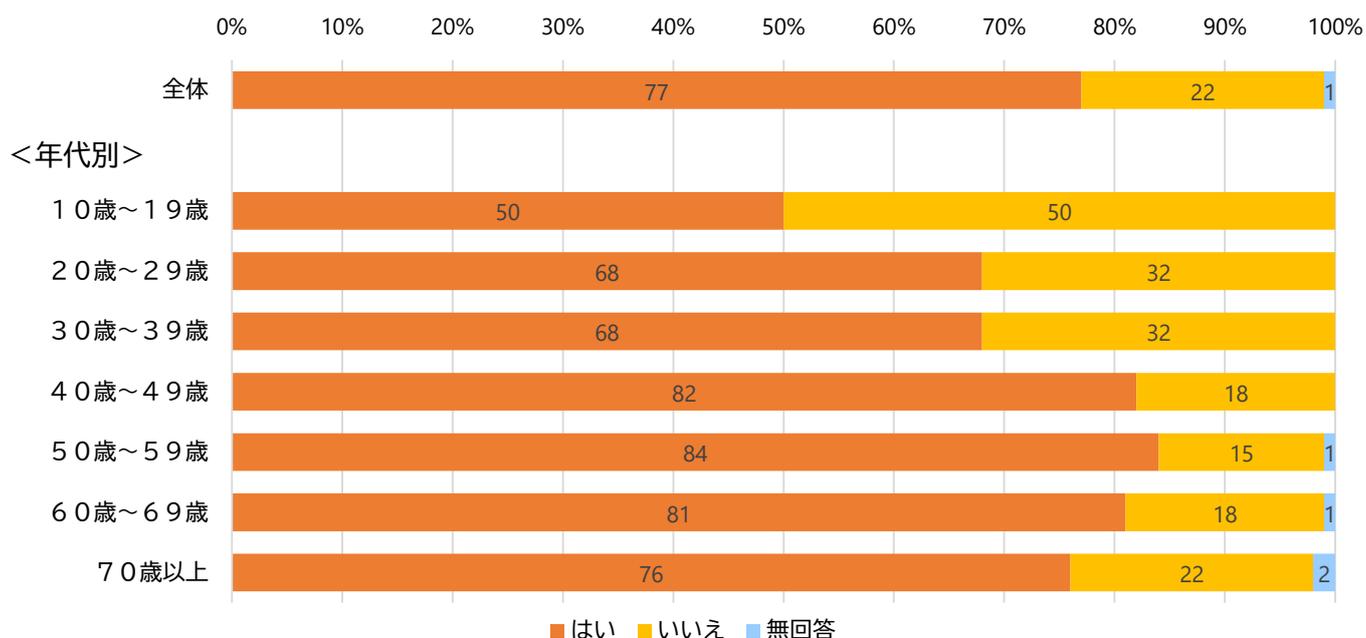
- ・全世代で「質のよい睡眠のとり方について」の割合が最も高い傾向にあります。
- ・引き続き、区民の皆さまが知りたい情報について、情報発信に取り組んでいきます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

「健診」は、からだの変化に早く気付くことができ、とても大切です。ほとんどの病気は自覚症状がないままに進行しています。健診は、ご自分の健康状態を知ることができるうえ、深刻な病気を未然に防ぐことができ効果的です。

問18 あなたは定期的に健診を受けていますか？

項目		回答数	比率(%)
1	はい	416	77.0
2	いいえ	117	21.7
	無回答	7	1.3
回答者数		540	



●定期的に健診を受けている区民の割合は77.0%

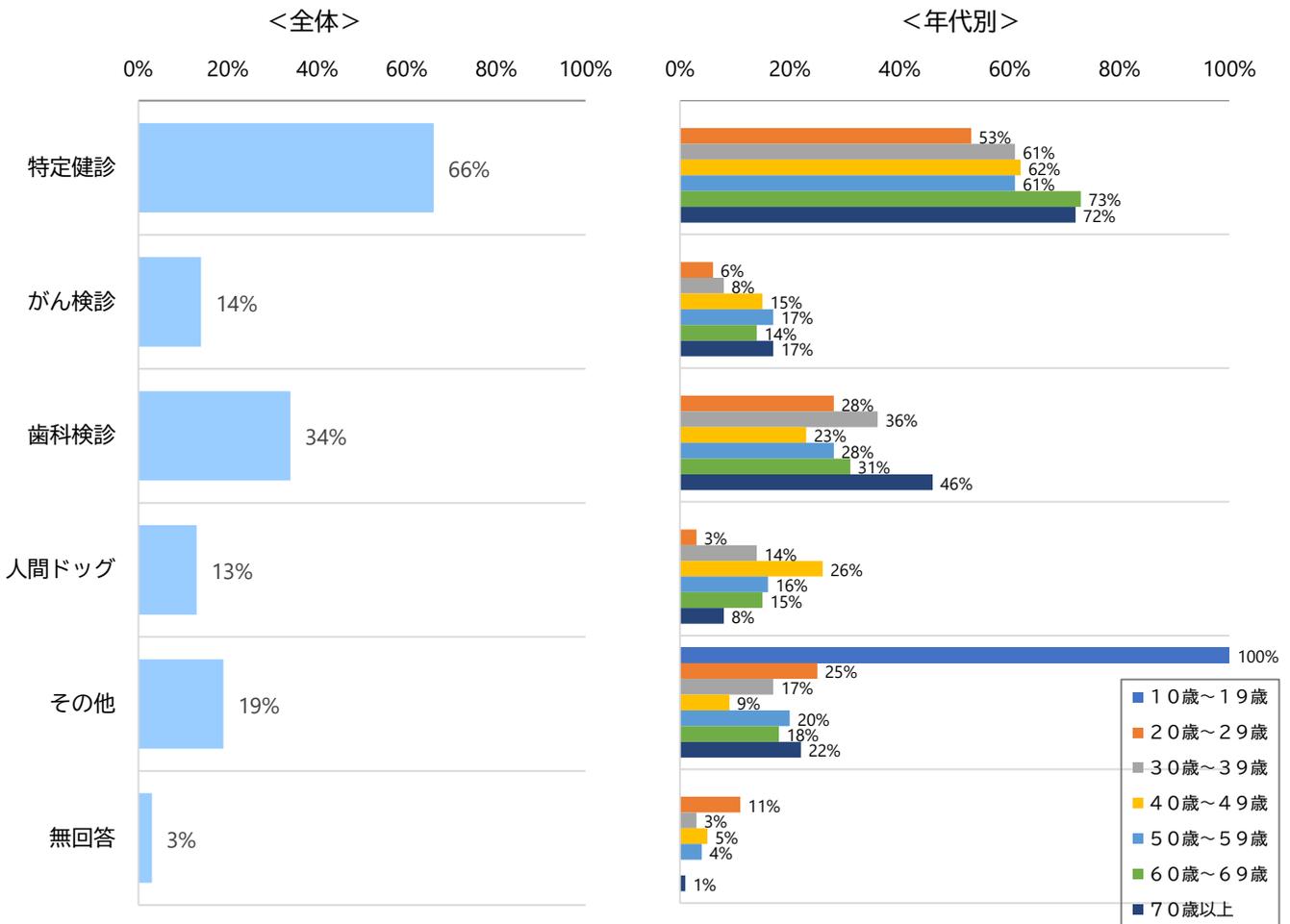
- ・各年代別では、20歳代で68%、30歳代で68%、40歳代で82%、50歳代で84%、60歳代で81%、70歳以上では76%が「はい」と回答しており、健診を受けている方が多い結果となりました。
- ・一定割合、未受診の方もおられるため、引き続き未受診者の方への有効なアプローチを検討していく必要があります。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問19 「あなたは定期的に健診を受けていますか？」がはいの場合→どんな健診を受けていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 特定健診	274	65.9
2 がん検診	60	14.4
3 歯科検診	142	34.1
4 人間ドッグ	56	13.5
5 その他	79	19.0
無回答	13	3.1
回答者数	416	

- その他の主な意見
- ・かかりつけ医
 - ・会社の定期健康診断
 - ・学校



●定期的に検診を受けている方のうち、特定健診を受けている区民の割合が65.9%と圧倒的に多い

- ・各年代別でも特定健診を受けている割合が最も多い傾向にあります。
- ・各年代別では、がん検診を受けている割合が少ない傾向があります。
- ・10歳代は、「その他」として学校等で受けているとの回答でした。
- ・区民の健康づくりの第一歩としてさらに各種健診の受診者が増えるよう、保健福祉センターのみならず身近な「かかりつけ医」での情報発信に取り組みます。

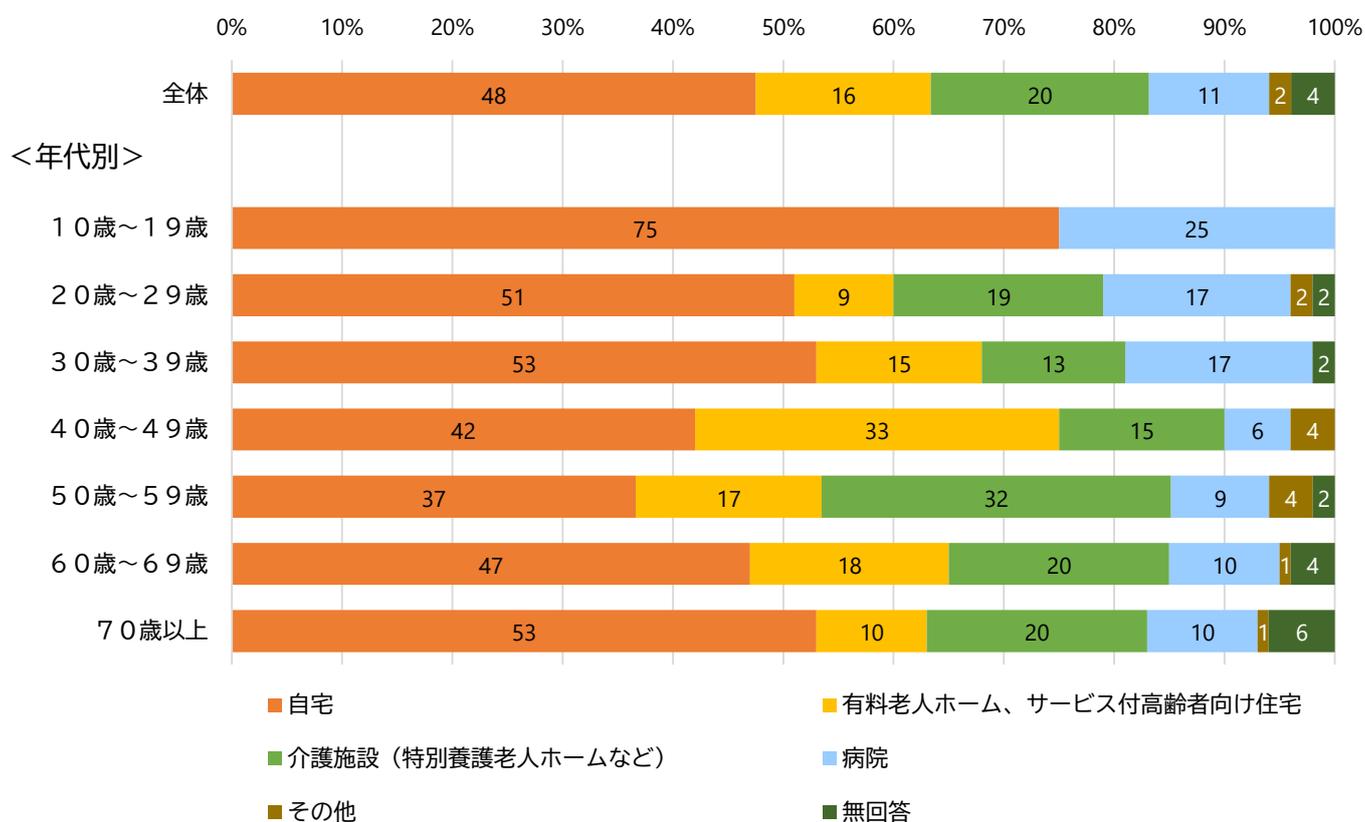
◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、医療と介護の両方を必要とする方々が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくことができるよう、医療関係者が訪問して治療等を行う在宅医療と介護の一体的な提供を充実させるため、各関係機関と共に取組を進めています。

問20 もしも、あなたが医療と介護が同時に必要な状態（入院の必要はないが、通院するのは困難な状況）になった場合、どこで過ごしたいですか？

項目		回答数	比率(%)
1	自宅	258	47.8
2	有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅	86	15.9
3	介護施設（特別養護老人ホームなど）	109	20.2
4	病院	58	10.7
5	その他	9	1.7
無回答		20	3.7
回答者数		540	

●その他の主な意見
 ・今はわからない
 ・2か3ならいい



●自宅でものごとしたい方が半数近くを占める

- ・「自宅」が47.8%と最も多く、「介護施設（特別養護老人ホームなど）」が20.2%、「有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅」が15.9%との割合で続いています。
- ・医療と介護が同時に必要となった場合、いずれの年代も自宅で過ごしたいと考えている方が最も多いという結果になっています。
- ・50歳代では「自宅」と「介護施設（特別養護老人ホームなど）」がほぼ同じ割合となっています。

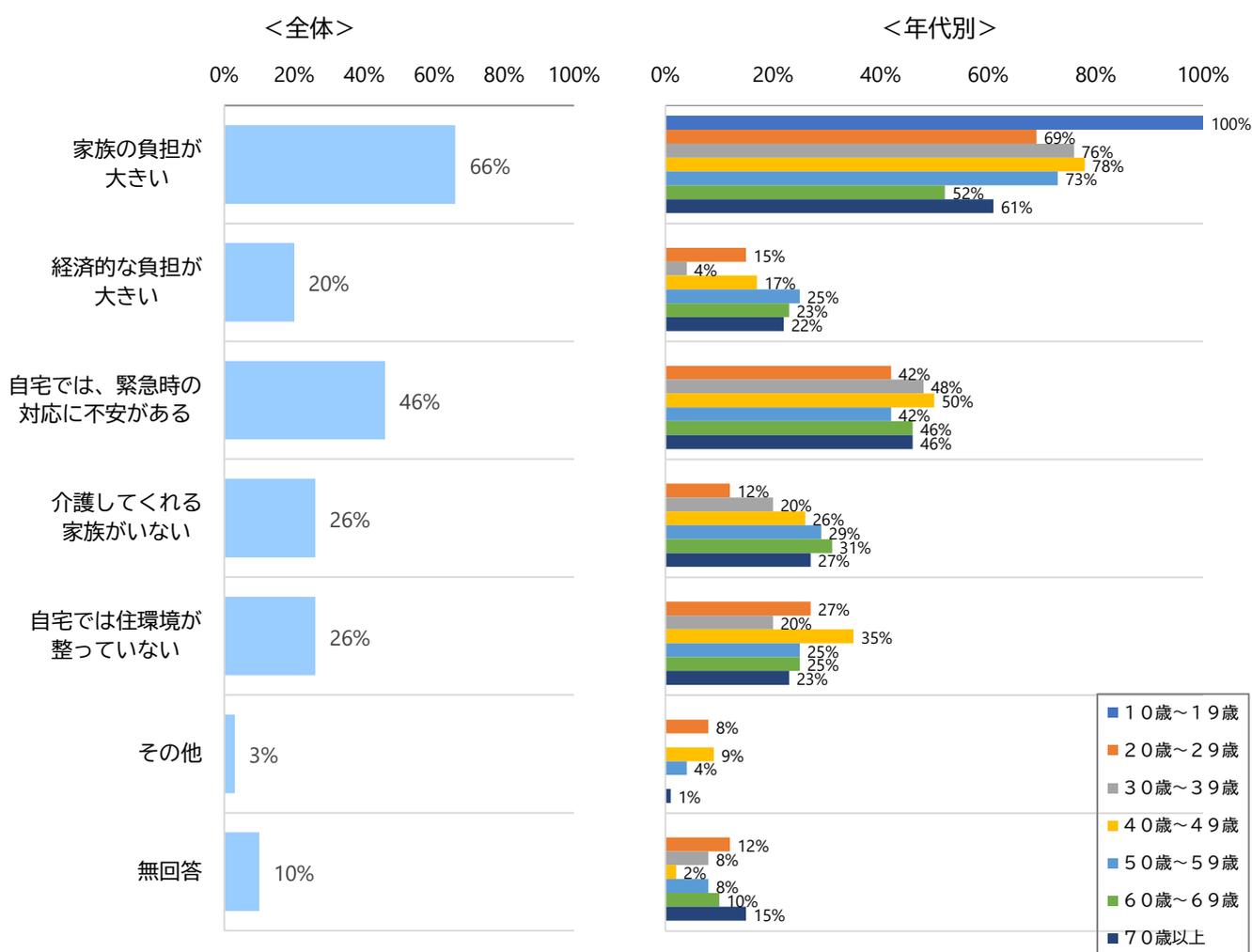
◆◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆◆

問21 問20で「1 自宅」以外の回答をした方にお聞きします。なぜ、自宅以外で暮らしたいと思いませんか？

【複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 家族の負担が大きい	187	66.3
2 経済的な負担が大きい	56	19.9
3 自宅では、緊急時の対応に不安がある	129	45.7
4 介護してくれる家族がいない	72	25.5
5 自宅では住環境が整っていない	73	25.9
6 その他	9	3.2
無回答	28	9.9
回答者数	282	

- その他の主な意見
- ・老老介護になるため
 - ・家族以外に相談したい



●自宅以外で暮らしたい理由として「家族の負担が大きい」が66.3%、「自宅では、緊急時の対応に不安がある」が45.7%

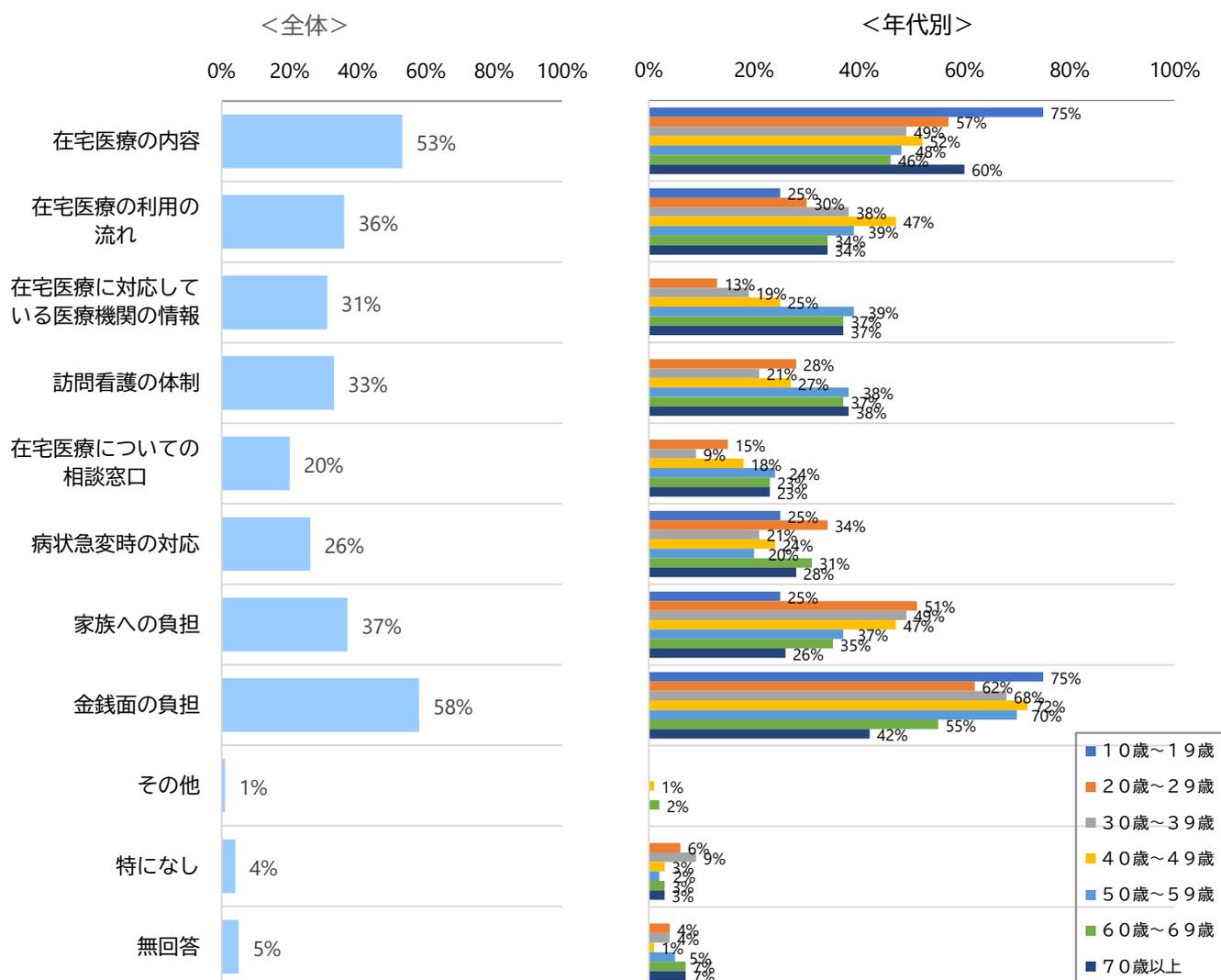
- ・年代別で見ると、全ての年代で「家族の負担が大きい」が最も多く、10歳代ではその割合が100%であることがわかります。

◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問22 あなたが在宅医療を受ける場合、知りたい情報は何か？【4つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 在宅医療の内容	286	53.0
2 在宅医療の利用の流れ	196	36.3
3 在宅医療に対応している医療機関の情報	168	31.1
4 訪問看護の体制	178	33.0
5 在宅医療についての相談窓口	108	20.0
6 病状急変時の対応	143	26.5
7 家族への負担	199	36.9
8 金銭面の負担	311	57.6
9 その他	3	0.6
10 特になし	21	3.9
無回答	28	5.2
回答者数	540	

●その他の主な意見
・まだ考えていない



●在宅医療を受ける場合に知りたい情報は「金銭面の負担」が57.6%

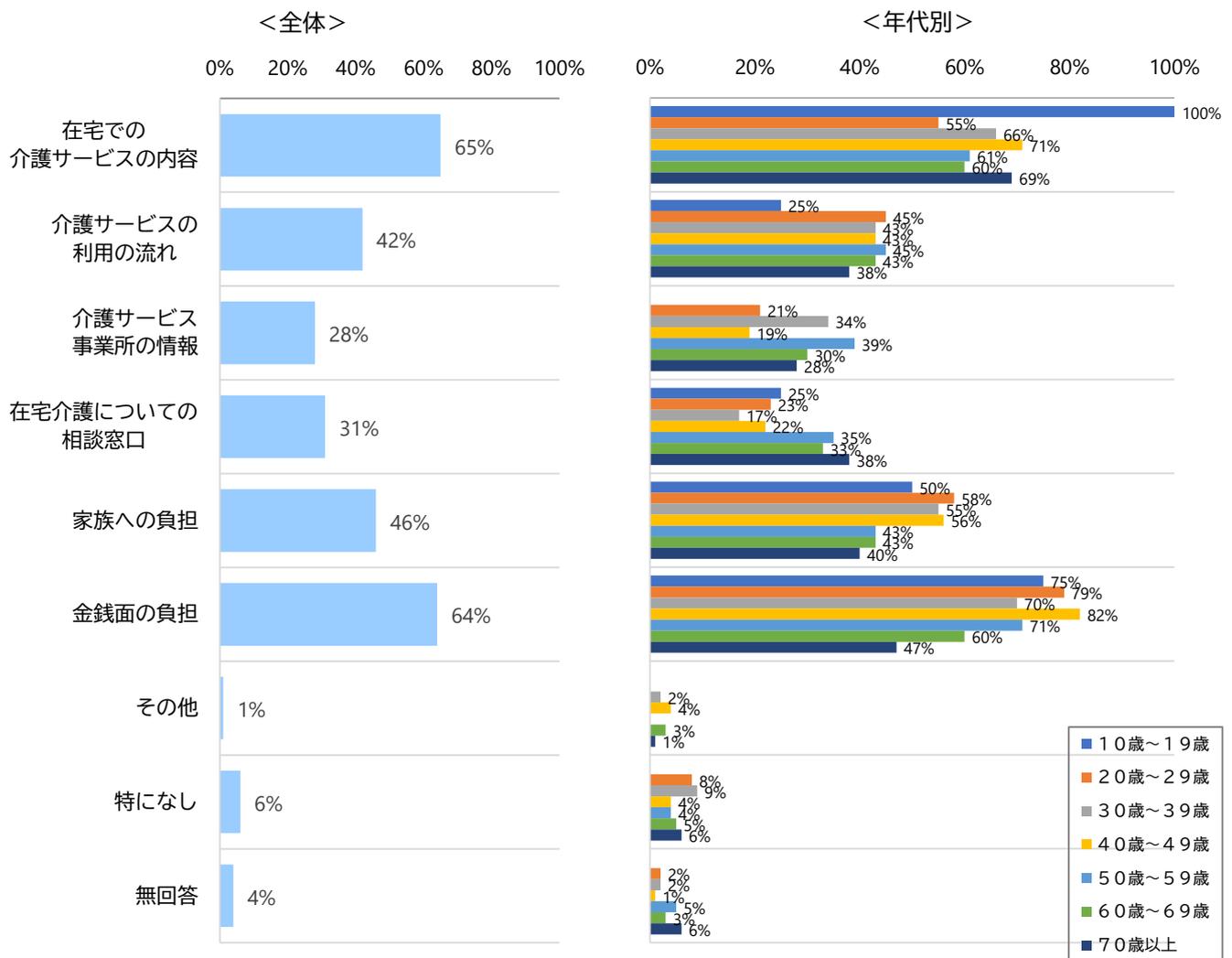
- ・「金銭面の負担」が57.6%、「在宅医療の内容」が53.0%と次に続きます。
- ・全年代で「金銭面の負担」と「在宅医療の内容」の割合が高い傾向にあります。
- ・今後も講演会や地域講座（出前講座）等を通じて、在宅医療や介護に関する情報を幅広くお知らせしていきます。

◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆

問23 あなたが在宅介護を受ける場合、知りたい情報は何か？【4つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 在宅での介護サービスの内容	350	64.8
2 介護サービスの利用の流れ	225	41.7
3 介護サービス事業所の情報	153	28.3
4 在宅介護についての相談窓口	165	30.6
5 家族への負担	251	46.5
6 金銭面の負担	343	63.5
7 その他	8	1.5
8 特になし	30	5.6
無回答	23	4.3
回答者数	540	

●その他の主な意見
 ・一人暮らしの場合は、大丈夫か
 ・まだわからない



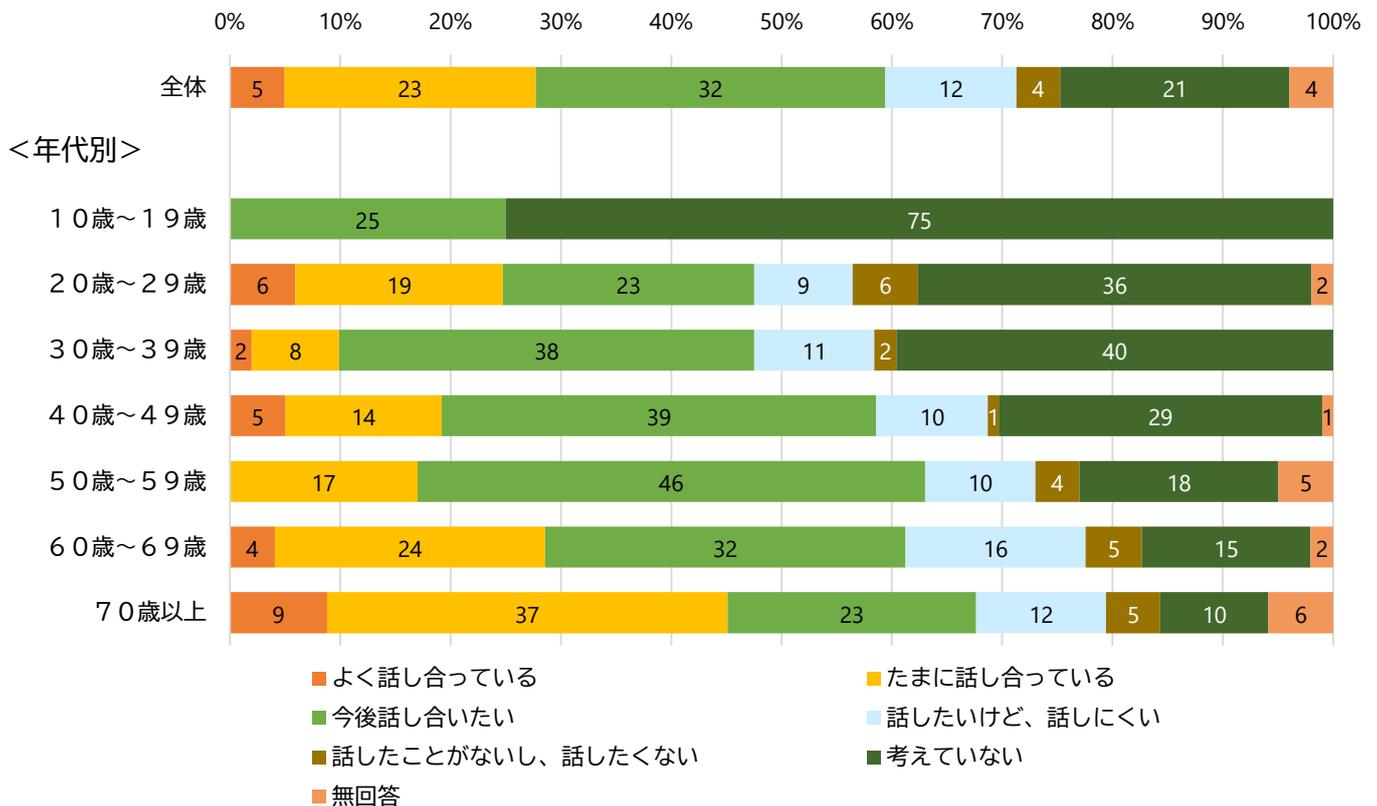
●在宅介護を受ける場合に知りたい情報は、「在宅での介護サービスの内容」が64.8%「金銭面の負担」が63.5%、とほぼ同率が多い

- ・年代別でも、10歳代を除き、各項目の割合がほぼ均等していることがわかります。
- ・今後も講演会や地域講座（出前講座）等を通じて、在宅介護や医療に関する情報を幅広くお知らせしていきます。

◆◆◆◆◆【在宅医療・在宅介護について】◆◆◆◆◆

問24 あなたは万が一に備えて、人生の最期が近くなった時の医療や介護の希望について、家族や信頼できる人と話し合ったことがありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 よく話し合っている	27	5.0
2 たまに話し合っている	126	23.3
3 今後話し合いたい	171	31.7
4 話したいけど、話しにくい	63	11.7
5 話したことがないし、話したくない	21	3.9
6 考えていない	112	20.7
無回答	20	3.7
回答者数		540



●話し合っている方の割合は32%

- ・「よく話し合っている」が5.0%、「たまに話し合っている」が23.3%となっており、すでに話し合っている方は28.3%にとどまっています。
- ・「今後話し合いたい」が31.7%「話したいけど、話しにくい」が11.7%となっており、話し合いの必要性については認識されているものの、まだ話し合うまでには至っていない方が4割いることが分かりました。
- ・「考えていない」が20.7%となり、10歳代では75%がまだ考えていない傾向となりました。
- ・40歳代以上では話し合いの必要性について認識しており、70歳代以上では4割以上がすでに話し合っている結果となりました。

自由意見欄のご意見等

※ご意見やご要望をわかりやすく掲載するために、一部抜粋や修正を行っています。

<まちづくりについて>

- ・人がいない 空き家が多い 高齢者が歩く為の道が狭い 今よりも未来に向けて投資して下さい
- ・大阪は自転車マナーが悪すぎます ちゃんと注意したり、取り締まったりしてほしいです
- ・中道小学校と玉津公園の所のT字路が危ないのでカーブミラーを設置してほしいです
- ・区役所がもっと身近になるよう、SNSやTikTokなど親しみやすさや区民に対してイベントなどしてほしいです
- ・歩きタバコ、自転車タバコの取りしまりをしてほしいです 地域の美化で住み良い東成区をめざして下さい
- ・地域に子育てセンターがいくつもあるので助かっています 英語のカリキュラムを組んでほしいです
- ・スマホを持ってない区民もいることを忘れずにこれからも町づくりをお願いします
- ・防犯に力を注いでくださっているようでありがとうございます
- ・小学校の区域は、近隣ではなく自由に好きなところを選択できるようにしてほしい
- ・子どもの居場所を作るような取組をたくさん進めてほしいです
- ・高齢者が安心して暮らせる町であってほしいです
- ・東成区のまちの活性化になるように、昔あったような地域振興券を配布してほしいです

<その他>

- ・区役所はいつも混んでいて待ち時間が長いです もう少しなんとかなりませんか？
- ・10代・20代・30代も興味を持って参加したいと思うことができるイベントやコンテンツがあるといいと思います
- ・1人暮らしの人々への支援ももう少しあってよいのではないかと思います
- ・InstagramやTikTokなどで情報発信し、若い方々にも興味を持っていただけるようにしたら面白いと思います

掲載しているものの他にもたくさんのご意見等をいただいております。ご協力ありがとうございました。いただきましたご意見等を参考にさせていただき、東成区政に活かしてまいります。

区民アンケートに関しまして、ご意見やご不明な点等がございましたら、下記の連絡先までお問合せください。
【お問合せ先】東成区役所総務課(総合企画担当) Tel:06-6977-9683



東成区の情報はこちらでも発信してます！

LINE
(防災)



X(イクス)



facebook
(まちの魅力)



facebook
(子育て)

